

## 化学療法誘発性末梢神経障害患者に対する Virtual Reality ガイド下リハビリテーション治療の取り組みに関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター腫瘍リハビリテーション科では、「化学療法誘発性末梢神経障害患者に対する Virtual Reality ガイド下リハビリテーション治療の取り組み」を行うことになりました。

この研究の目的は、化学療法誘発性末梢神経障害の患者さんに対する Virtual Reality ガイド下リハビリテーション治療参加状況を調べて実行可能性を明らかにすることです。

この研究のため、2022年8月1日より2022年10月31日までに治療した方の診療録の調査を行います。対象となるのは、がんリハビリ・ロコモ外来で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（痛みやしびれの状態・身体機能・生活の質・鎮痛薬処方内容など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年3月

研究責任者

東京医療センター腫瘍リハビリテーション科

宮田知恵子

連絡先 03-3411-0111(代表)